

授業計画

科目名	子どもの成長発達と看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	1 年次
科目 目標	1. 小児看護の変遷や社会的現状から小児看護の役割を理解する 2. 子どもの成長発達過程を生活の側面から理解する 3. 子どもの基本的な権利と擁護にかかわる法律を理解し、小児看護における倫理を考える 4. 現代社会における子どもを取り巻く諸問題に気づき、子どもの最善の利益を考える 5. 子どもの健康を支えるための看護の役割について考える					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	小児看護の対象と目的・役割	小児看護の対象 児童観、育児観、小児看護の変遷 諸統計からみた子どもの現状 小児看護の目的 小児看護の役割	講義 演習	専任教員*		
第 2 回	子どもの成長と発達	子どもの成長発達の原則 成長発達に影響する要因 形態的成長：身体発育、発育指標	講義	専任教員*		
第 3 回		機能的発達：呼吸、循環、消化・吸収など 感覚機能の発達・運動機能の発達	講義	専任教員*		
第 4 回		心理・社会的発達：認知、情緒、コミュニケーション、社会性、自己意識、母子関係、遊び等 小児看護における概念と理論 アタッチメント理論・認知発達理論 自我発達理論 ・家族発達理論 身体発育の評価	講義	専任教員*		
第 5 回		子どもの栄養の特徴 小児各期の栄養 食育基本法	講義	専任教員*		
第 6 回		子どもの安全・事故防止 子どもに多い事故と安全対策・安全教育	講義	専任教員*		
第 7 回	子どもの生活と場	子どもの生活の場を知る 保育園見学等	演習	専任教員* 保育士等*		
第 8 回		子どもの生活の場を知る 保育園見学等	演習	専任教員* 保育士等*		
第 9 回	現代社会における諸問題	現代家族の特徴 家族のアセスメント 現代の子どもと家族が置かれている状況 多彩な家庭形態の子どもに及ぼす影響	講義	専任教員*		
第 10 回		現代の子どもと家族が置かれている状況 (子どもの虐待、子どもの貧困、グローバル社会の子どもたち等)	演習	専任教員*		
第 11 回		現代の子どもと家族が置かれている状況	演習	専任教員*		
第 12 回	小児看護・医療における法律	児童憲章 子どもを保護する法律・政策 児童福祉法 子ども・子育て支援法 母子保健施策 母子保健法 健やか親子 2 1	講義	専任教員*		

回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>
第 13 回	小児看護・医療 における法律	社会福祉法 障害者総合支援法 発達障害者支援法 予防接種法 学校保健安全法	講義	専任教員*
第 14 回	小児看護におけ る倫理	子どもの権利条約の意義と内容 子どもの基本的な権利と擁護に関わる法律 小児看護学領域で特に留意すべき子どもの権 利と必要な看護 小児看護における子どもの権利 アドボカシー インフォームドアセント プレパレーション	演習	専任教員*
第 15 回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)		
テキスト 参考図書	系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術		評価 方法	筆記 100 点
備考	小児看護の対象である現代の子どもたちについて生活環境や成長発達過程を理解する。			

授業計画

科目名	子どものヘルスプロモーションを支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次	
科目 目標	1. 健康増進のための子どもと家族の看護を理解する 2. 小児期にみられる主な症状と経過の特徴に応じた看護を理解する 3. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護を理解する 4. プライマリヘルスケアで出会う看護を理解する						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>			
第 1 回	子どもの発達段階に 適した生活 支援	乳児期の健康増進と家族への支援 栄養と離乳 運動と遊び 感染予防 事故防止	講義	専任教員*			
第 2 回		幼児期の健康増進と家族への支援 食生活と食育 生活リズムと基本的生活習慣の確立 事故防止と安全教育	講義	専任教員*			
第 3 回		学童期・思春期の健康増進と家族への支援 生活習慣病の予防 齲歯と近視の予防 仲間との関係や学校への適応 親が病気になった子どものケア 成人期への移行支援	講義 演習	専任教員*			
第 4 回	子どもによく見 られる症状と看 護	急性期症状を示しやすい子どもの生理的、発達 的特徴 発熱	講義	専任教員*			
第 5 回		子どもによく見られる症状とその看護 下痢・嘔吐・脱水	講義	専任教員*			
第 6 回		子どもによく見られる症状とその看護 けいれん・呼吸困難・痛み	講義	専任教員*			
第 7 回		小児感染症とその看護 発疹を伴う感染症 発疹を伴わない感染症	講義	専任教員*			
第 8 回		子どもの病気の 理解	発達段階別の病気に対する理解の特徴と仕方 幼児前期・幼児後期・学童前期・学童後期	講義	専任教員*		
第 9 回		子どもの病気の理解に影響を与える要因 子どもの年齢、認知能力、過去の経験 家族の状況、知識、経験、価値観 病気の種類、重症度、症状 治療の期間と環境	講義	専任教員*			
第 10 回		外来で出会う子 どもの看護	外来における子どもと家族の看護 外来（健康増進・一般・専門・救急）の特徴 と看護 子どもの入退院支援	講義	専任教員*		

回	単 元	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員
第 11 回	病気の子ども の看護	子どもが入院に伴い体験することと反 応 たいせつな人からの分離と新たな関係形 成 病気に伴う症状や検査、治療による心身の苦 痛や不快感 環境や生活の変化や規制と自己調整力の脅 かしや成長 子どもの入院に伴う家族の体験と反応 家族の生活や役割の変化 きょうだいへの影響と 思い 父母、祖父母への影響と 思い ケアを受ける子どもへの説明と同意の重要性 と援助	講義	専任教員*
第 12 回		ケアを受ける子どもと家族への援助 子どもと家族の力を支える援助 子どもの発達段階別援助 多職種との連携	講義 演習	専任教員*
第 13 回		ケアを受ける子どもと家族への援助 入院各期、入院の種類別の援助 退院後の受診判断	講義 演習	専任教員*
第 14 回		ケアを受ける子どもと家族への援助 規則に対する子どもと家族の反応と援助 入院中の子どもにとっての遊びや学習の意 義と援助	講義 演習	専任教員*
第 15 回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)		
テキスト 参考図書	系統看護学講座 系統看護学講座 看護実践のための	小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児臨床看護各論 根拠がわかる小児看護技術	評価 方法	筆記 100 点
備考				

授業計画

科目名	子どもの健康状態に応じた看護		単位数 (時間)	1 単位 (30)	履修 時期	2 年次	
科目 目標	1. 医療的ケアを必要とする子どもの看護を理解する 2. 特殊な状況にある子どもの看護を理解する 3. 医療を受ける子どもの最善の利益を守るための看護を考える						
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>			
第 1 回	医療的ケアを必要とする子どもの看護	先天異常を持つ子どもと家族の看護 家族の理解と受容過程 家族の心理的準備とケア 退院支援	講義	専任教員*			
第 2 回		障害のある子どもと家族の看護 障害のある子どもの発達の特徴 家族の受容段階とケア 退院支援	講義	専任教員*			
第 3 回		手術を受ける子どもと家族の看護 計画手術 日帰り手術 プレパレーション 子どもの痛みの受け止め ストレス対処への支援 退院指導・継続看護	講義	外部講師			
第 4 回		救急処置を要する子どもと家族の看護 誤飲・熱傷・溺水・心肺蘇生 乳幼児の意識レベル	講義	外部講師			
第 5 回		様々な状況にある子どもの看護	隔離が必要な子どもと家族の看護 行動制限が必要な子どもや感染管理が必要な子ども 病院における安全管理	講義	外部講師		
第 6 回			長期的経過をたどる疾患をもつ子どもと家族の看護 小児慢性特定疾患 子どもと家族のエンパワーメント 退院支援	講義	専任教員*		
第 7 回			在宅医療を受ける子どもと家族の看護 小児在宅ケアの現状 在宅移行への援助、	講義	専任教員*		
第 8 回			終末期にある子どもと家族の看護 子どもの死の概念 病気の説明 緩和ケア 子どもを看取る家族のケア 退院支援	講義	専任教員*		

回	単 元	内 容	形式	担当教員 *実務経験のある教員
第9回	ハイリスク新生児の看護	ハイリスク新生児の集中治療と看護 母体の疾患および服用した薬物に伴う状態 妊娠および分娩に関連する状態 在胎週数および出生体重に起因する状態 新生児自身に関与する状態 低出生体重児の看護 NICU、GCU に入院する子どもと家族の特徴 胎外生活への適応を支える看護 成長、発達を支える看護 ディベロップメンタルケア 退院支援、継続支援	講義	外部講師
第10回	特殊な状況下にある子どもの看護	災害時の子どもと家族の看護 被災地の環境と心身への影響 災害時の在宅看護	講義	専任教員*
第11回		被虐待児と家族への看護 虐待の影響 虐待を受けた子どもへの包括的ケア 関係機関との連携	講義	専任教員*
第12回	医療を受ける子どもの権利	小児看護と倫理的配慮 医療を受ける上で起こりやすい問題 医療、治療の選択と決定を支える看護 子どもへのケア	講義 演習	専任教員*
第13回		医療を受ける子どもの権利について事例検討	演習	専任教員*
第14回		医療を受ける子どもの権利について事例検討	演習	専任教員*
第15回	評価	自己学習時間 (1h) 修了認定試験 (1h)		
テキスト 参考図書	系統看護学講座 系統看護学講座 看護実践のための	小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児臨床看護各論 根拠がわかる小児看護技術	評価 方法	筆記 100 点
備考				

授業計画

科目名	子どもの成長発達を支える看護		単位数 (時間)	1 単位 (15)	履修 時期	2 年次
科目 目標	1. 子どもの日常生活援助技術を習得できる 2. 子どもや家族との関わりに必要なコミュニケーションスキルを習得できる 3. 子どもの尊厳を踏まえ、発達を考慮した援助を理解する 4. 検査や治療が必要な子どもに対する援助を理解する 5. 子どもと家族を理解するための思考過程を理解する 6. 子どもの権利を尊重した看護を実践できる					
回	単 元	内 容	形式	担当教員 <small>*実務経験のある教員</small>		
第 1 回	子どもの日常生活に必要な援助	日常生活援助 子どもの抱き方、衣服の着脱・おむつ交換 身体計測	校内 実習	専任教員*		
第 2 回	健康問題を持つ子どもの看護	Case learning① 事例紹介（白血病 気管支喘息等） 情報収集と整理 子どもと家族を理解する視点 （健康状態・成長発達・家族）	講義	専任教員*		
第 3 回		Case learning② 子どもの生活を阻害している因子の分析 解決に必要な援助計画	演習	専任教員*		
第 4 回		Case learning③ ヘルスアセスメント 一般状態、バイタルサイン測定、 フィジカルアセスメント プレパレーション、ディストラクション	校内 実習	専任教員*		
第 5 回		Case learning④ 事例に応じた採血・採尿・骨髄穿刺・腰椎穿刺 などの援助	校内 実習	専任教員*		
第 6 回		Case learning⑤ 事例に応じた吸入・吸引、輸液ポンプ・シリンジ ポンプ時の援助	校内 実習	専任教員*		
第 7 回	子どもの権利を尊重した援助	子どもの最善の利益を考えた援助	演習	専任教員*		
第 8 回	評価	修了認定試験（1h）				
テキスト 参考図書	系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 系統看護学講座 小児臨床看護各論 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術		評価 方法	筆記 60 点 レポート 40 点		
備考	事例に基づいた実践的な小児看護技術を学んでいく。演習を通して実践力を養えるように子どものヘルスプロモーションを支える看護、子どもの健康状態に応じた看護を復習しておく					